



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月14日

上場会社名 南海化学株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4040 URL <https://www.nankai-chem.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 菅野 秀夫  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員業務本部長 (氏名) 室井 真澄 (TEL) 06-6532-5590  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	14,422	4.0	1,289	184.9	1,453	183.7	1,011	207.3
2023年3月期第3四半期	13,862	—	452	—	512	—	329	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,083百万円(153.1%) 2023年3月期第3四半期 428百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	513.81	507.08
2023年3月期第3四半期	256.05	—

(注) 1. 2023年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 2024年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社は2023年4月20日に東京証券取引所スタンダード市場へ上場したため、新規上場日から2024年3月期第3四半期連結会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	19,503	7,338	37.3
2023年3月期	18,346	5,191	28.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 7,265百万円 2023年3月期 5,132百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	15.00	15.00
2024年3月期	—	15.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	35.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,300	3.6	1,300	63.2	1,600	80.6	1,000	98.4	488.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	2,330,330株	2023年3月期	2,330,330株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	350,624株	2023年3月期	1,044,283株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	1,969,380株	2023年3月期3Q	1,286,047株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、役員向け株式給付信託(RS交付型)及び従業員向け株式給付信託が所有する当社株式を自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

2023年度第3四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナ情勢の長期化、中東情勢の緊迫等による原材料・エネルギー価格の高止まりに加え、世界的な金融引き締め政策による景気下振れ懸念等、依然として先行き不透明な状況が続いております。日本国内においては、円安を背景とした原材料・エネルギー価格の高止まりを受けた商品の値上げ等が国内経済に及ぼす影響が懸念され、先行きは楽観できない状況となっております。

このような経済情勢のもと、当社グループは中期経営計画「Fly Higher Nankai」の最終年度として、引き続き経営指針である、「想定力の向上で守りの成長と攻めの成長を実現する」の達成に向け、既存コア事業の基盤強化、価格是正、販売数量確保、効率経営による生産性向上、成長分野への経営資源（ヒト・モノ・カネ）の重点配分の諸施策を適切に実施いたしました。また、当第3四半期において補助金収入を営業外収益に計上いたしました。

上記の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は14,422百万円（前年同四半期比4.0%増）、損益面につきましては、営業利益は1,289百万円（前年同四半期比184.9%増）、経常利益は1,453百万円（前年同四半期比183.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,011百万円（前年同四半期比207.3%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### <化学品事業>

基礎化学品につきましては、製品価格の是正を行うとともに、販売数量確保と原価抑制に努めました。

機能化学品につきましては、連結子会社である富士アミドケミカル㈱操業停止の影響を受け、売上は減少しました。

アグリにつきましては、安定供給体制の構築に向けて、サプライチェーンの整備の継続に努めました。

環境リサイクルにつきましては、半導体市況の悪化影響はあったものの、廃硫酸リサイクルの新規顧客獲得推進等を積極的に行いました。

上記の結果、売上高は12,461百万円（前年同四半期比2.8%増）、セグメント利益は1,901百万円（前年同四半期比69.0%増）となりました。

#### <各種塩事業>

各種塩事業には、塩の製造や加工、販売が含まれております。本年度の暖冬影響により融雪塩の売上は減少したものの、製品価格の是正等により、売上高は1,961百万円（前年同四半期比12.5%増）、セグメント利益は143百万円（前年同四半期は19百万円のセグメント損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

流動資産につきましては、主に現金及び預金が622百万円、商品及び製品が374百万円増加し、受取手形及び売掛金が512百万円、原材料及び貯蔵品226百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ161百万円増加し、9,012百万円となりました。

固定資産につきましては、主に有形固定資産が921百万円、無形固定資産が57百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ997百万円増加し、10,474百万円となりました。

#### (負債)

流動負債につきましては、主に短期借入金が526百万円、賞与引当金が125百万円それぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ693百万円減少し、7,256百万円となりました。

固定負債につきましては、主にその他に含まれるリース債務が357百万円増加しましたが、長期借入金554百万円、社債が100百万円それぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ295百万円減少し、4,909百万円となりました。

#### (純資産)

純資産につきましては、株式上場による自己株式の処分1,608百万円などがあり、前連結会計年度末に比べ2,146百万円増加し、7,338百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年11月14日の「2024年3月期通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,301	1,924
受取手形及び売掛金	4,281	3,769
商品及び製品	1,083	1,457
仕掛品	142	96
原材料及び貯蔵品	1,333	1,106
その他	716	667
貸倒引当金	△7	△9
流動資産合計	8,850	9,012
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,207	3,601
機械装置及び運搬具（純額）	2,273	2,461
工具、器具及び備品（純額）	214	206
土地	1,129	1,131
リース資産（純額）	9	6
建設仮勘定	502	851
有形固定資産合計	7,337	8,258
無形固定資産	582	639
投資その他の資産	1,555	1,575
固定資産合計	9,476	10,474
繰延資産	18	17
資産合計	18,346	19,503

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,050	2,676
短期借入金	1,738	1,212
1年内償還予定の社債	100	100
1年内返済予定の長期借入金	851	836
未払法人税等	72	365
賞与引当金	252	126
環境対策引当金	71	66
関係会社整理損失引当金	37	-
その他	2,776	1,872
流動負債合計	7,949	7,256
固定負債		
社債	900	800
長期借入金	2,473	1,919
退職給付に係る負債	290	266
資産除去債務	102	103
環境対策引当金	79	79
役員株式給付引当金	-	7
株式給付引当金	-	15
その他	1,359	1,717
固定負債合計	5,205	4,909
負債合計	13,155	12,165
純資産の部		
株主資本		
資本金	454	454
資本剰余金	225	178
利益剰余金	6,658	7,564
自己株式	△2,420	△1,204
株主資本合計	4,916	6,991
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	122	125
為替換算調整勘定	93	148
その他の包括利益累計額合計	215	273
非支配株主持分	58	72
純資産合計	5,191	7,338
負債純資産合計	18,346	19,503

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	13,862	14,422
売上原価	10,670	10,239
売上総利益	3,191	4,182
販売費及び一般管理費	2,738	2,893
営業利益	452	1,289
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	5	14
賃貸収入	122	90
持分法による投資利益	-	32
補助金収入	-	192
その他	49	29
営業外収益合計	185	366
営業外費用		
支払利息	32	32
賃貸収入原価	57	53
休止固定資産費用	-	75
その他	35	40
営業外費用合計	126	202
経常利益	512	1,453
特別利益		
固定資産売却益	4	0
投資有価証券売却益	-	76
その他	7	12
特別利益合計	12	89
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	52	90
減損損失	34	12
災害による損失	5	5
その他	31	19
特別損失合計	123	128
税金等調整前四半期純利益	401	1,415
法人税等	75	389
四半期純利益	325	1,025
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	329	1,011

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	325	1,025
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	3
為替換算調整勘定	85	54
その他の包括利益合計	102	57
四半期包括利益	428	1,083
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	431	1,069
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年4月20日に東京証券取引所スタンダード市場への上場にあたり、公募による自己株式の処分600,000株、第三者割当による自己株式の処分93,900株を行い、資本剰余金が49百万円、利益剰余金が448百万円、自己株式が1,608百万円減少しました。また、「役員向け株式給付信託(R S 交付型)及び従業員向け株式給付信託」の信託契約に基づき、㈱日本カストディ銀行が当社の自己株式を180,000株取得したことにより、利益剰余金が391百万円、自己株式が同額増加しました。主にこれらの影響により、当第3四半期連結累計期間末において資本剰余金が178百万円、利益剰余金が7,564百万円、自己株式が1,204百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算方法)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	化学品事業	各種塩事業			
売上高					
外部顧客への売上高	12,118	1,743	13,862	—	13,862
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	49	50	△50	—
計	12,118	1,793	13,912	△50	13,862
セグメント利益又は損失(△)	1,125	△19	1,105	△653	452

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「化学品事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当第3四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は34百万円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	化学品事業	各種塩事業			
売上高					
外部顧客への売上高	12,461	1,961	14,422	—	14,422
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	79	79	△79	—
計	12,461	2,041	14,502	△79	14,422
セグメント利益	1,901	143	2,045	△755	1,289

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「化学品事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当第3四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は12百万円であります。